データマイニング技術による障害解析機能の製品化(WebSAM LogCollector TraceAssistant)

近年、システムに対する信頼性が高まる中、万一障害が発生した場合には、一刻も早い原因特定が求められており、障害発生時におけるログ解析は欠かせない作業となっています。そのため複数のサーバで出力されるログを一元的に管理･参照できる「WebSAM LogCollector」(以降、LogCollector) を製品化しました。しかし、LogCollector で収集した膨大なログの中から短時間で障害の原因となる事象を見つけ出すのは容易ではありません。ログ解析を行うためには、製品知識や分析ノウハウが不可欠であるからです。そこで、ログ解析に関する知識を必要とせず、膨大なログの中から障害の原因と考えられる事象を迅速に特定することのできるログ解析支援ツール「WebSAM LogCollector TraceAssistant」(以降、TraceAssistant) を新たに製品化しました。

TraceAssistant は、LogCollector で収集したログに対し、NEC 中央研究所で開発されたデータマイニングエンジン「AccessTracer」の技術を用いてパタン分析を行います。分析完了後、分析した結果をパタンの異常らしさを示すスコアとしてグラフにより可視化します(図)。グラフから、スコアの高いパタンのログのみを注目して調べることで従来よりも短時間で原因特定を行うことが可能になります。さらに、TraceAssistant は対象となるログの出現パタンを学習し以降の分析へと応用します。そのため、異常検出すべきログをナレッジとして事前に登録しておく必要がありません。

TraceAssistant を使用することにより、ナレッジ等の従来製品では困難であった未知のパタンのシステム障害を検出することも可能であり、障害発生時の原因特定に要する時間を大幅に削減します。

問合せ先
NEC　第一コンピュータソフトウェア事業部
VALUMOサーバグループ
Tel:042-333-6443
Mail:TraceAssistant@vsg.jp.nec.com

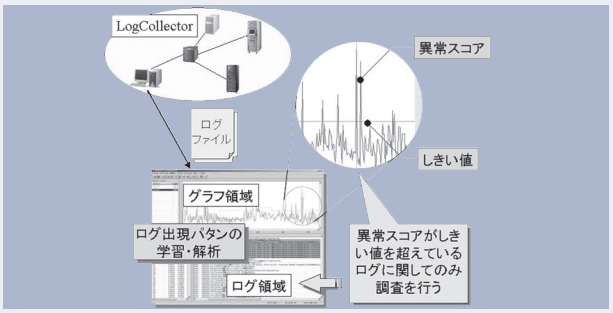

図　TraceAssistant の概要

異種データベース間でのデータ連携を実現するDataCoordinator

近年、各企業では、全社規模でビジネスプロセスを効率化するため、全国に点在するシステム環境の異なるデータベースに蓄積されたデータを効率的に連携させるツールを求める声が高まっていました。このようなニーズに応えるため､DataCoordinatorを2005年7月にリリースしました。

DataCoordinatorは以下の特長を持っています。

1)アプリケーションプログラムの作成は不要

従来、データ連携を実現するには、一般的にアプリケーションプログラムの作成、テスト、保守といった高コストな作業が必要でした｡DataCoordinatorは、データ連携定義や運用を容易に行えるGUIを有しており、構築や運用に関わる作業を低コストで実現できます。たとえばデータ連携定義は、図のGUIにて、マウスによるドラッグ&ドロップで簡単に作成することができます。

2)多彩な機能

バッチジョブのようにマスタ表のデータを一度に転送したり、マスタ表に対して更新されたデータのみをレプリカ表へ転送することができます。また、1つのマスタ表から複数のレプリカ表へ転送する機能も有しています。マスタ表とレプリカ表の表形式が異なる場合でも、列結合や属性変更、演算などデータ加工機能によりデータ連携が可能です。

3)多彩な連携バリエーションを実現

主要なデータベース製品である、Oracle、SQLServer、PostgreSQLに加え、メインフレームのRIQSⅡ V1、V2との連携も可能です。今後、対象データベース(最新情報は、ホームページをご覧下さい)やプラットフォームOSの拡大を行うことで、多彩な連携バリエーションを実現していく予定です。

問合せ先
第二コンピュータソフトウェア事業部
データベースグループ
Mail: webmaster@ace.comp.nec.co.jp
URL: http://www.ace.comp.nec.co.jp/dc/

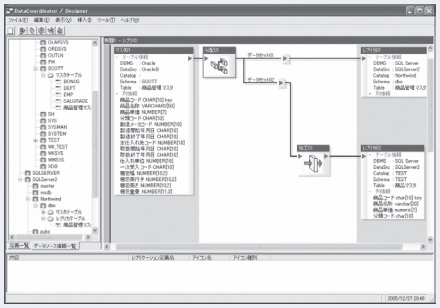

図　GUI 画面